

事務事業チェックシート

事務事業No 771 事業名 社会保障・税番号制度事業

[長期総合計画]

分野別目標	5	その他
政策	3	業務改革の推進
施策	3	質の高い行政サービスの提供
取組方針	1	質の高い行政サービスの提供

事業種別	継続	
事業期間	平成26年度～	
事業実施の根拠法令	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律	
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	共通番号調整課	清水博恵(435-1212)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		総務管理費	
	目		一般管理費	
	大・小事業		社会保障・税番号制度事業	
事項		社会保障・税番号制度事業		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か) マイナンバー制度の適正かつ有効な運用を図る。	事業内容 マイナンバー制度の適正かつ有効な運用を図るため、関係各課の事務の総括、国や県からの情報収集、各課への情報提供並びに総合調整を行う。 また、庁内組織として和歌山市番号制度推進委員会 (以下「委員会」という。) を設置し、マイナンバー制度の推進を図る。				
	実施内容	平成26年度 委員会の開催	平成27年度 委員会の開催 庁内研修会の開催 条例・規則の制定	平成28年度 委員会の開催 庁内研修会の開催 出前講座の開催 条例・規則の改正	平成29年度 委員会の開催 出前講座の開催	平成30年度 委員会の開催 出前講座の開催

2 事業コスト

事業費等 (千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,338	819	1,110	346	919	480	829		829	
伸び率 (%)	-	-	▲17.0%	▲57.8%	▲17.2%	38.7%	▲9.8%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	10,300	10,300	10,300	15,608	15,608	17,150	17,150		17,150
	正規職員以外	201	201	201			343			
	小計	10,501	10,501	10,501	15,608	15,608	17,493	17,150		17,150
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源 (税等)	1,338	819	1,110	346	919	480	829		829	
所要人数 (人)	正規職員	1.36	1.36	1.36	2.05	2.05	2.16	2.16		2.16
	正規職員以外	0.10	0.10	0.10			0.23			
主な予算内訳	消耗品費395千円、印刷製本費135千円 等									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 委員会の開催回数	回	目標値	1	1	1	1	1
		実績値	1	3	4		
		達成度 (%)	100.0%	100.0%	100.0%		
活動指標 庁内研修会の開催回数	回	目標値		1	1		
		実績値		1	1		
		達成度 (%)		100.0%	100.0%		
成果指標 出前講座の開催	回	目標値			3	10	10
		実績値			9		
		達成度 (%)			100.0%		
成果指標		目標値					
		実績値					
		達成度 (%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>マイナンバー制度の推進を図るため、国や県からの情報収集に努め、庁内への情報共有を図るとともに、同制度実施に係る独自利用条例の制定・改正などの重要な判断・決定をするための和歌山市番号制度推進委員会の事務局として、同委員会の運営を担当している。</p> <p>また、特定個人情報の取扱いにおいては、安全管理措置の徹底を関係課に働きかけるなど、個人番号利用事務（個人番号関係事務を含む）の適正化に取り組んでいるところであることから、現状維持が適切と考える。</p>
見直し・改善内容	<p>平成28年度から実施している出前講座の開催条件を緩和することで、同講座の利用を促し、制度について市民への更なる周知を図る。また、マイナンバー制度に関連して部局を超えた組織横断的な取組がより一層求められていることから、和歌山市番号制度推進委員会の活用などにより、部局間の調整機能の強化を図る。</p>